

28歳のロッシェニの肖像(2)——ルモワーヌのリトグラフのヴァリエーション

(水谷彰良コレクションより)

ルモワーヌのリトグラフに楽譜と署名を加えたヴァリエーション

28歳のロッシェニ肖像(1)で紹介したオギュスト・シャルル・ルモワーヌ(Auguste Charles Lemoine, 1822-69)によるリトグラフは、ペーザロ「ロッシェニの家」の油彩画に基づいて作成され、サイズの大きな用紙(67×32.5 cm)に刷られている。ここで取り上げるのはルモワーヌのリトグラフのヴァリエーションで、ロッシェニの自筆楽譜と署名が追加されている。



「ロッシェニの家」所蔵の原画(左)とルモワーヌのリトグラフ(右。部分)

筆者所蔵は1864年にパリで出版された《セミラミス(*Semiramis*)》(オペラ座用に作られたフランス語版《セミラミデ》)のピアノ伴奏譜に挿入されたリトグラフで、サイズは26.5×18 cm、肖像の下部左に「Aug. Lemoine lith」、右に「Imp. Bertauts, Paris」、下部中央に「G. ROSSINI」、2小節のロッシェニ自筆楽譜と署名の複製に続いて左隅に「Paris, au Ménestrel, 2. bis r. Vivienne」と刷られている。



28歳のロッシェニの肖像(2)

A. C.ルモワーヌによるリトグラフ、
ロッシェニ自筆楽譜と署名の複製付
(1864年。筆者所蔵)

[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

(水谷彰良。2014年2月作成)